

複眼的セルフディスカッションによる論理的問題解決

2019/05/08 福岡 克也

➤ 本日のアジェンダ

- 背景
- 目的
- 手段
- 議論したい内容

➤ 背景

バイトにて、結論・目的がはっきりしていないと感じる話が多い
MT もルーチンワーク化されて開催が目的になっている

積み上げ思考：現状から発想して問題解決を図る

川端大二. "戦略思考力開発の試案: 研修等における研究・指導のツールの提言." 経営研究 18.1: 21-39.

➤ 目的

- 説得力（訴求力？）の無い主張者の論理的思考力の涵養
- それに伴った論理的問題解決

➤ 手段

- **why 型思考**

自身の中でなぜ？と問うことで理由が連なり、話が筋道立つ
例) 明日はいつもより早く家を出るべき
なぜ？ 道路が渋滞するから、明日は～
なぜ？ 明日は大雨が降って、道路が渋滞～
この一連の流れをセルフディスカッションと呼ぶ

また、別の手段・解決策はないのか議論する

例) アメリカの大手車メーカーのフォードは当時の客の

複眼的セルフディスカッションによる論理的問題解決

2019/05/08 福岡 克也

「速い馬が欲しい」という注文になぜ？という問いを立て、
「速い馬」が欲しいのではなく「高速で移動できる手段」が欲しい
という真意を掴み自動車の製造に至る
なぜ？という問いで上位目的（真意）を捉える

- **複眼的思考**

問題解決において肯定と否定だけでなく、意見を出す立場を細分化
若い男性、高齢な女性、教育指導者、会社経営者など
（アメリカ モトローラ社の「六つの問い」にならって）

複数の視点・前提から目を向けることで
様々な問題点や制約に気づくことができるのでは？

- **批判的思考**

ステレオタイプを疑う
常識・前提は本当にあっているのか根拠は？
結果をもたらした原因は本当に正しいのか

上記のような思考方略を用いて論理的にセルフディスカッションを進める

➤ **議論したい内容**

- 目的の曖昧さについて
- 論理的議論の進め方と問題解決は別々の問題なのでは
- 無理やり詰め込んだ感が否めない